

サハリン樺太史研究会
2010年度活動報告書

2012年1月31日
サハリン樺太史研究会

—2010 年度活動報告書—

目次

活動概要

例会・関連シンポジウム等

共同調査

研究成果刊行物

研究プロジェクト

サハリン樺太史研究会会則・役員

報告書刊行について

本会は 2008 年 7 月に発足した。その後、例会開催、共同調査実施を重ね、さらに 2010 年には研究会誌を刊行、2011 年より公式 HP を開設し、研究会内外への発信にも力を入れるようになった。そこで、毎年の活動を報告書にまとめ記録として残すこととした。本会のあゆみも早 3 年半にいたっており、その間、報告書を作成しておらず、まずは 2008 年度分から順に報告書を作成刊行することとなった。なお、報告書中本文の「本年」などは、報告書年度を指している。

2012 年 1 月 31 日

中山大将

(サハリン樺太史研究会公式HP運営担当者)

—活動概要—

例会の三本柱

当初は会員や科研メンバーの相互理解という向きの強かった例会の報告テーマも次第に明確な方向性を持つようになっていった。ひとつは、原会長が手掛けているスラブ・ユーラシア叢書の次のテーマである「日露戦争とサハリン島」に関するものである。また、その次のテーマである北樺太保障占領期は今年度より採択された原科研のテーマともされ、執筆候補者・科研メンバーによる報告がなされた。もうひとつは、今西科研が昨年度の調査を契機にサハリン残留韓人問題に取り組み始めたため、これに関する報告が行われるようになった。

中国延辺での共同調査

今西科研「19～20 世紀北東アジア史のなかのサハリン・樺太」は、北東アジアという視点を得るべく中国延辺朝鮮族自治州での調査を行った。また、今年度もサハリンでの調査を行うなど、毎年の海外共同調査が慣例化した。この海外共同調査は、一週間ほど集団行動をとるため、重要な交流の場ともなった。

研究会誌『サハリン樺太史研究』刊行

昨年度はロシアでサハリン樺太史日ロ国際交流の成果が論文集として刊行された。日本側でも翻訳を行って刊行することは双方の合意であり、天野尚樹、松井憲明が翻訳と刊行に向けて多大な労力を払い、最終的に研究会誌『サハリン樺太史研究』の第一号として刊行されるにいたった。ロシア側のサハリン史研究の論文が日本語で読める重要な文献となった。

また、今西一が大学紀要という比較的瞬発力のある媒体を用いて、共同調査の研究成果を部分的に報じるなど、科研の共同研究の進捗が外部からも確認できるような状況が作られた。

原科研の始動・若手の研究費獲得

昨年度の今西科研に続き、本年度は原科研「国境の植民地サハリン(樺太)島の近代史:戦争・国家・地域」が採択されるに至った。このふたつの科研を両輪として、共同研究が相乗効果を生み出しながら進展することとなった。

また、井潤裕が科研・若手研究(B)を、中山大将が科研・研究スタート支援を獲得するなど、若手枠を利用してサハリン樺太史の若手研究者たちが自力で新規の研究プロジェクトを打ち立てていく状況も生まれた。

—例会・関連シンポジウム等—

■ 第 12 回例会(第 2 回総会)

日時:2010 年 5 月 22 日

場所:北海道大学

共催:グローバル COE「境界研究の拠点形成—スラブ・ユーラシアと世界」

第二次大戦後樺太からの引揚 1945～1949 年……………竹野学(札幌医科大学)

ポーツマス講和会議におけるサハリン問題……………シュラトフ・ヤロスラヴ(東京大学)

■ 第 13 回例会

日時:2010 年 7 月 31 日

場所:北海道大学

日本における間島問題および在満朝鮮人研究の動向……………白木沢旭兎(北海道大学)

東アジアの知の共同空間の構築についての一考察:朝鮮人満州移民一世と移民三世との対話をめぐって

……………朴仁哲(北海道大学)

DVD 鑑賞『小熊秀雄とサハリン』

■ 国際シンポジウム「ロシアと日本の研究者の目からみる日露戦争サハリン戦の歴史」

日時:2010 年 10 月 9・10 日

場所:北海道大学(9 日)・小樽商科大学札幌サテライト校(10 日)

主催:科研「国境の植民地サハリン(樺太)島の近代史:戦争・国家・地域」

共催:小樽商科大学、科研「19～20 世紀北東アジア史のなかのサハリン」、北海道大学スラブ研究センター

第 1 日 10 月 9 日(北海道大学)

第 1 セッション:研究の立脚点

日露戦争とサハリン戦に関するロシア国内文書館の歴史史料:時空間の詳説

……………アレクサンドル・コスタノフ(サハリン州公文書管理局长)

1904～1905 年の露日戦争サハリン戦に関するロシアの史学史

……………ミハイル・ヴィソコフ(サハリン国立大学ロシア史講座教授)

討論者:原暉之

第 2 セッション:戦争と産業

北サハリン鉱業の発展史から(1906 年から 1914 年まで)

..... ガリーナ・シャルクス(サハリン国立大学ロシア史講座主任、准教授)

討論者: 神長英輔

第 2 日 10 月 10 日(小樽商科大学札幌サテライト校)

第 3 セッション:戦争と住民

日露戦争期とその後のサハリン住民 マリーナ・イシチェンコ(サハリン国立大学世界史講座准教授)

日露戦争下および戦後サハリンにおけるロシア正教会

..... ナターリヤ・ポタポヴァ(サハリン国立大学世界史講座主任、准教授)

討論者: 板橋政樹、天野尚樹

エクスカージョン: 月形町月形博物館、新十津川町開拓記念館

第 14 回例会

日時:2010 年 12 月 18 日

場所:北海道大学

尼港事件・保障占領と「救恤」政策 井竿富雄(山口県立大学)

保障占領期北樺太に関する基礎的研究 竹野学(札幌医科大学)

南北樺太林業史研究の現状と展望 中山大将(京都大学)

日本占領期(1920~1925 年)北サハリン史に関するソビエト史学史

..... ミハイル・ヴァソコフ(サハリン国立大学)

第 15 回例会

日時:2011 年 2 月 19 日

場所:北海道大学

サハリン・樺太の朝鮮人 今西一(小樽商科大学)

帝国日本における樺太の「孤島化」と朝鮮人 三木理史(奈良大学)

個別的愛民主義の帝国:戦後ソ連のサハリン・朝鮮人統治 1945~1949 年 天野尚樹(北海道情報大学)

—共同調査—

中国東北部調査

期間:2010 年 8 月日～日

調査地:中間人民共和国遼寧省、吉林省、黒竜江省

調査先:大連市図書館、ハルピン市図書館、ハルピン档案馆、黒竜江省図書館

用務先:延辺大学

(21 日:シンポジウム『極東におけるコリアンの移動の問題』シンポジウム)

参加者:天野尚樹(北海道大学)、石川亮太(佐賀大学)、井澗裕(北海道大学)、今西一(小樽商科大学)、金鎔基(小樽商科大学)、白木沢旭兎(北海道大学)、中山大将(京都大学)、野添憲治(作家)、許粹烈(韓国忠南大学)、朴仁哲(北海道大学)、麓慎一(新潟大学)、三木理史(奈良大学)、水谷清佳(東京成徳大学) * 五十音順

サハリン調査

期間:2010 年 9 月 18 日～25 日

調査地:ロシア連邦サハリン州ユジノ・サハリンスク市、ホルムスク市

調査先:サハリン州国立公文書館、サハリン北海道人会

用務先:ロシア連邦サハリン州立学芸図書館(22 日:国際学術会議「A・P・チーフとサハリン—21 世紀の視点から」参加)

参加者:天野尚樹(北海道大学)、池田裕子(稚内北星学園大学)、井澗裕(北海道大学)、今西一(小樽商科大学)、(稚内北星学園大学)、加藤絢子(九州大学)、倉田由佳(函館市)、竹野学(札幌医科大学)、田村将人(北海道開拓記念館)、中山大将(京都大学)、原暉之(北海道情報大学)、麓慎一(新潟大学)、三木理史(奈良大学) * 五十音順

—研究成果刊行物—

(五十音順)

■天野尚樹 ロシア極東近現代史・北東アジア国際関係史

【著書】

松井憲明、天野尚樹 編訳『サハリン・樺太史研究第 1 集: サハリンの植民の歴史的経験(2008 年 5 月サハリン大学国際シンポジウム報告集)』、2010 年 7 月 31 日。

【論文集】

天野尚樹「サハリン石炭開発はなぜ成功しなかったのか: 北東アジア海域における石炭交易」松井憲明、天野尚樹 編訳『サハリン・樺太史研究第 1 集: サハリンの植民の歴史的経験(2008 年 5 月サハリン大学国際シンポジウム報告集)』、2010 年 7 月 31 日。

【定期刊行物】

Высоков М. С.(天野 尚樹 訳)「翻訳 サハリン植民史における強制労働と自由労働」『北海道・東北史研究』6 号、2010 年。

天野尚樹「サハリン流刑植民地のイメージと実態: 偏見と適応」『境界研究』1 号、2010 年。

(松井憲明・天野尚樹 訳)「サハリンの植民の歴史と現段階」『社会科学研究: 釧路公立大学紀要』23 号、2011 年 3 月。

■井澗裕 建築史

【論文集】

井澗裕「城下町としての豊原: 豊原は本当に「小札幌」だったのか」松井憲明、天野尚樹 編訳『サハリン・樺太史研究第 1 集: サハリンの植民の歴史的経験(2008 年 5 月サハリン大学国際シンポジウム報告集)』、2010 年 7 月 31 日。

■板橋政樹 サハリン近現代史

【定期刊行物】

板橋政樹「1905 年夏、サハリン戦と住民(その 2)虐殺の予兆としてのヴラディミロフカ戦(上)」『北海道・東北史研究』6 号、2010 年。

*【著書】…著書、編書、翻訳書など。【論文集】…定期刊行物以外の文献に掲載された論文など。【定期刊行物】…学術誌、紀要、会誌などに掲載された論文など。

■ 出村文理 出版史

【定期刊行物】

出村文理「樺太関係主要文献目録(邦文編・1946(昭和 21)年以降刊行分)』『文献探索人』2010 年号、2010 年。

■ 今西一 日本近代史

【定期刊行物】

今西一「樺太・サハリンの朝鮮人」『小樽商科大学人文研究』121 号、2011 年 3 月 31 日。

■ 尾形芳秀 豊原郷土史、サハリン・ポーランド人研究

【定期刊行物】

尾形芳秀「先人の思い胸に鈴谷岳に登る」『鈴谷』26 号、2010 年 12 月。

尾形芳秀「戦後この目で見たソ連占領の実態」『鈴谷』26 号、2010 年 12 月。

尾形芳秀「チャーホフ生誕 150 年に想う:「サハリン島」以後の足跡を辿って」『鈴谷』26 号、2010 年 12 月。

■ 塩出浩之 日本政治史

【論文集】

塩出浩之「日本人樺太植民者の政治的帰属」松井憲明、天野尚樹 編訳『サハリン・樺太史研究第 1 集:サハリンの植民の歴史的経験(2008 年 5 月サハリン大学国際シンポジウム報告集)』、2010 年 7 月 31 日。

■ シュラトフ・ヤロスラフ ロシア外交史・日露関係史

【定期刊行物】

シュラトフ・ヤロスラフ「日露戦争後のロシアの日本観:外務省と軍部、中央と地方(一九〇五年-一九一六年)(<特集>2009 年度大会)」『ロシア史研究』86 号、2010 年 5 月 27 日。

■ 白木沢旭児 日本近現代経済史

【論文集】

白木沢旭児「樺太における終戦」松井憲明、天野尚樹 編訳『サハリン・樺太史研究第 1 集：サハリンの植民の歴史的経験(2008 年 5 月サハリン大学国際シンポジウム報告集)』、2010 年 7 月 31 日。

■ 竹野学 日本植民地経済史

【論文集】

竹野学「戦前期樺太における商工業者の実像—豊原商工会議所の活動を中心に」松井憲明、天野尚樹 編訳『サハリン・樺太史研究第 1 集：サハリンの植民の歴史的経験(2008 年 5 月サハリン大学国際シンポジウム報告集)』、2010 年 7 月 31 日。

■ 田村将人 アイヌ史

【論文集】

田村将人「アンケート集計集」蘭信三編『日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究(科学研究費補助金・基盤研究(B)中間報告書)』上智大学外国語学部、2010 年 9 月 1 日。

【定期刊行物】

田村将人「1912 年、サハリン先住民と研究者、行政の三者に関するメモ」『北海道開拓記念館研究紀要』39 号、2011 年。

田村将人「服部文庫公開シリーズ(5)ニヴフ語調査に関する樺太庁敷香支庁土人事務所との往復文書」『北海道立北方民族博物館研究紀要』20 号、2011 年。

■中山大将 農林業史・歴史社会学

【論文集】

中山大将「樺太の食料問題におけるアイデンティティと独自主義」松井憲明、天野尚樹 編訳『サハリン・樺太史研究第 1 集: サハリンの植民の歴史的経験(2008 年 5 月サハリン大学国際シンポジウム報告集)』、2010 年 7 月 31 日。

中山大将「帝国崩壊による樺太・サハリンをめぐる人口移動の形態および移動後の社会と経験」蘭信三編『日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究(科学研究費補助金・基盤研究(B)中間報告書)』上智大学外国語学部、2010 年 9 月 1 日。

NAKAYAMA Taisho「Migration from and to Karafuto/Sakhalin Island evoked by the collapse of the Japanese empire」蘭信三編『日本帝国崩壊後の人口移動と社会統合に関する国際社会学的研究(科学研究費補助金・基盤研究(B)中間報告書)』上智大学外国語学部、2010 年 9 月 1 日。

【定期刊行物】

中山大将「樺太庁中央試験所の技術と思想: 1930 年代樺太拓殖における帝国の科学」『農業史研究』45 号、2011 年 3 月。

■原暉之 ロシア極東近現代史

原暉之「ロシア革命とシベリア出兵」和田春樹ほか編『岩波講座東アジア近現代通史 第 4 巻』岩波書店、2011 年 3 月。

■麓慎一 日露関係史

【論文集】

麓慎一「大谷光瑞と樺太」柴田幹夫編『大谷光瑞とアジア: 知られざるアジア主義者の軌跡』、2010 年 8 月。

*【著書】…著書、編書、翻訳書など。【論文集】…定期刊行物以外の文献に掲載された論文など。【定期刊行物】…学術誌、紀要、会誌などに掲載された論文など。

■松井憲明ロシア社会経済史

【定期刊行物】

Vysokov Mikhail (松井憲明 訳)「翻訳 サハリンと千島列島:編年史、1936-39 年」『釧路公立大学
地域研究』19号、2010年12月。

(松井憲明・天野尚樹 訳)「サハリンの植民の歴史と現段階」『社会科学研究 : 釧路公立大学紀要』
23号、2011年3月。

Vysokov Mikhail (松井憲明 訳)「翻訳 サハリンと千島列島:編年史、1991-95 年」『人文・自然科
学研究』23号、2011年3月。

■三木理史歴史地理学

【論文集】

三木理史「20 世紀の日本における樺太論の展開」松井憲明、天野尚樹 編訳『サハリン・樺太史研究
第1集:サハリンの植民の歴史的経験(2008年5月サハリン大学国際シンポジウム報告集)』、
2010年7月31日。

【定期刊行物】

三木理史「日本における植民地理学の展開と植民地研究」『歴史地理学』第52巻5号、2010年12
月。

一研究プロジェクト

(代表者五十音順)

■井澗裕 建築史

[新規]井澗裕「旧ソビエト周縁地域における都市空間の歴史的変遷 極東・ウクライナ・中央アジア」
科学研究費補助金・若手研究(B)、2010-2011年。

■今西一 日本近代史

[継続]今西一「19～20世紀北東アジア史のなかのサハリン・樺太」科学研究費補助金・基盤研究(B)、
2009-2011年。

[単年]今西一「近現代サハリン・樺太における境界変動と跨境的人流・物流に関する研究：ロシア極東・
北東アジア地域における相互理解に資する歴史記述を求めて」北海道大学スラブ研究センタ
ー「スラブ・ユーラシア地域(旧ソ連・東欧)を中心とした総合的研究」プロジェクト型、2010年。

■中山大将 農林業史・歴史社会学

[新規]中山大将「日本帝国崩壊後の樺太植民地社会の変容解体過程の研究」科学研究費補助金・研
究活動スタート支援、2010-2011年。

[単年]中山大将「ポスト冷戦期アジア社会主義圏の女性人口移動」京都大学グローバルCOEプログラ
ム「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」次世代研究ユニット、2010年。

■原暉之 ロシア極東近現代史

[新規]原暉之「国境の植民地サハリン(樺太)島の近代史：戦争・国家・地域」科学研究費補助金・基盤
研究(B)、2010-2011年。

■麓慎一 日露関係史

[最終]麓慎一「19世紀後半における露清関係の変容と日本の北東アジア政策」科学研究費補助金・基
盤研究(B)、2007-2010年。

* 掲載している研究プロジェクトは、本会関係者が代表者をつとめるもののうち、サハリン樺太史関連のもののほか、周辺地域・領域をテーマにする物も含んでいる。[新規]…今年度より開始したもの。[継続]…中間年度にあたるもの。[最終]…最終年度にあたるもの。[単年]…今年度開始した単年度のもの。

サハリン・樺太史研究会会則

2009年5月16日採択

1. 本研究会はサハリン・樺太史研究会と称する。
2. 本研究会は、サハリン・樺太を対象地域とし、主として歴史分野に関する研究の促進と研究者の交流を目的とする。
3. 本研究会は、その目的を達成するために次の事業をおこなう。
 - (1) 定例研究会(例会)・シンポジウムなどの開催。
 - (2) 共同の研究・調査、およびその成果の公開。
 - (3) サハリンの大学・研究機関との交流、情報交換および共同研究の促進。
 - (4) その他本研究会の目的を達成するために適当な事業。
4. 本研究会は、サハリン・樺太の歴史に関心があり、その目的に賛同し、事業に協力する個人の会員からなる。
5. 新年度最初の例会時に総会を開催する。総会は本研究会の最高議決機関であり、総会の議決は原則として出席会員の過半数によって成立する。
6. 本研究会には次の役員をおく。
会長(1名)・副会長(1名)・事務局長(1名)。
7. 役員選出までは4名からなる世話人が研究会の運営にあたる。世話人は役員を互選し、総会の承認を得る。
8. 会長は本研究会を代表し、会務を統括する。
9. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
10. 本研究会に事務局をおく。事務局長は会長・副会長のもとで本研究会の事務全般を担当する。
11. 役員の任期は2年とする。ただし再任はさまたげない。
12. 本会則は2009年4月から発効する。本会則の改正は役員の議を経たのち総会の議決による。

サハリン・樺太史研究役員

2009年5月16日選出

会長:原暉之

副会長:今西一

事務局長:天野尚樹

=====

サハリン樺太史研究会 2010 年度活動報告書

発行日：2012 年 1 月 31 日

編集者：中山大將

発行者：サハリン樺太史研究会

[公式 HP] <http://sakhlinkarafutohistory.com/home.html>

お問い合わせは、上記 HP の問い合わせフォームよりお願いいたします。

=====